

技術データ

■ローラーユニットの許容荷重

ローラーユニット (RLTローラーエレメント + RLTアルミレール)	許容荷重 注)	
	ローラーユニット全体に掛かる分布荷重 	ローラー/ボール単体に掛かる集中荷重
RLT-E-PA15 + RLT-AL RLT-AL-SL	13330N/m	200N
RLT-E-PA + RLT-AL RLT-AL-SL	13330N/m	360N
RLT-E-TPU15 + RLT-AL RLT-AL-SL	1333N/m	20N
RLT-E-TPU + RLT-AL RLT-AL-SL	5550N/m	150N
RLT-E-POM + RLT-AL RLT-AL-SL	850N/m	30N

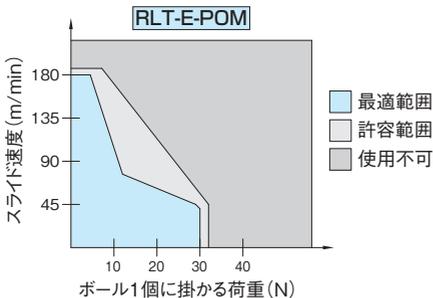
上記データは、搬送物がローラーとの接触面を平らに保つ剛性のある材料の場合の値です。
それ以外の場合は値が低くなる可能性があります。

注) **RLT-E-PA15** **RLT-E-PA** **RLT-E-TPU15** **RLT-E-TPU**

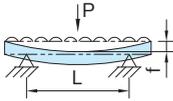
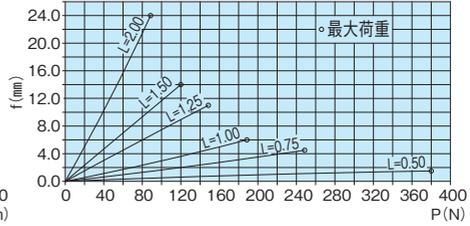
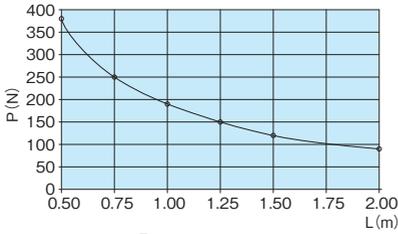
- ・ RLTアルミレールのリブに当たるなど、ローラーの回転を妨げるような弾性変形を引き起こす荷重値です。この数値は、永久変形を示すものではありません。
- ・ 一般的なアプリケーションにおいて、スライド速度を考慮する必要はありません。

RLT-E-POM

- ・ ユニット内でボールの摩擦が発生し、スライド速度の減速を引き起こす荷重値です。この数値は、永久変形を示すものではありません。スライド速度を加速させたい場合は、下のグラフを参照ください。



■アルミレールの許容荷重とそのたわみ量(2点支持し、中心部に集中荷重を掛けた場合)



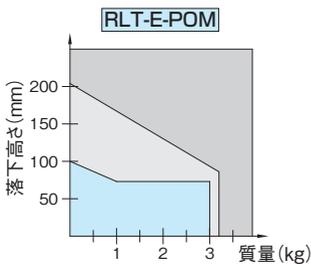
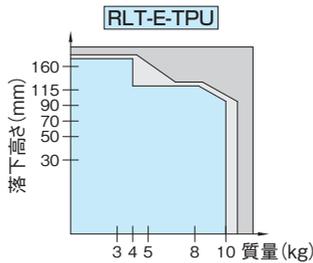
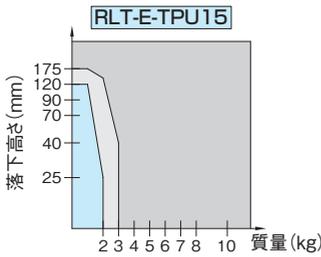
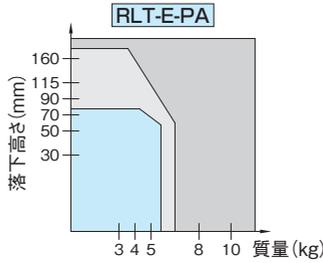
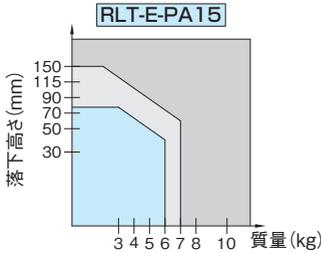
P=集中荷重

RLTアルミレールにたわみが生じ、製品の機能が低下する値です。この数値は永久変形を示すものではありません。

L=サポート間距離

f=たわみ量

■耐衝撃性



- 最適範囲
- 許容範囲
- 使用不可